

科 目	化学	単 位 数	4 単位	年 間 授 業 時 間	140 時間
対 象 学 年 ・ (組)	3年	使用教科書(出版社)	改定 化学(東京書籍)		
	必修選択	副 教 材 等	セミナー化学基礎+化学(第一学習社)		

教 科 担 当 者

指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】
4月	電気分解	・電気分解の原理について理解し、電子を含むイオン反応式で説明することができる。	9月	有機化合物の特徴と構造	有機化合物の特徴を理解し、構造決定ができるようになる。
	物質の状態	・物質の状態について理解し、蒸気圧曲線や状態図について説明できる。		炭化水素	飽和炭化水素と不飽和炭化水素の具体的な性質や反応性について理解する。
				アルコール類	アルコールの構造と性質および構造異性体であるエテルについての理解を深める。
5月	気体の性質	・気体の性質について理解し、気体の状態方程式などを用いた計算をすることができる。	10月	アルコールと関連化合物	アルデヒドとケトンの分類ができ、反応について理解する。カルボン酸とエステルの違いを理解し、反応性の違いについて理解する。
	溶液の性質	・溶液の性質について理解し、溶解度、凝固点降下に関する計算をすることができる。		芳香族化合物	芳香族化合物について酸素・窒素を含むものについても理解し、分類できる。
				天然高分子化合物	身近に存在する天然高分子化合物について理解する。
				合成高分子化合物	天然高分子化合物に対して、合成高分子化合物について合成法を理解し、環境問題に発展させ、身近に存在する高分子化合物について考える。
6月	固体の構造	・固体の構造について理解し、結晶構造について説明できる。	11月	模擬問題	大学入試センター試験対策 チェック&演習(数研出版)
	化学反応と熱・光	・化学反応と熱、光について理解し、熱化学方程式を用いた計算をすることができる。			
	化学反応の速さ	・化学反応の速さについて理解し、反応速度定数を用いた計算をすることができる。			
7月	化学平衡	・化学平衡について理解し、平衡定数を用いた計算をすることができる。	12月	模擬問題	大学入試センター試験対策 チェック&演習(数研出版)

【評価の観点・方法】

〔評価の観点〕
 ・化学的な事物・現象に関心や探求心を持ち、主体的に探求しようとする、科学的な態度を身につけている。
 ・化学的な事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
 ・観察・実験などを行い、基本的な操作を習得することができる。

〔評価方法〕
 ・定期考査・ノート提出・小テスト・プリント・発問